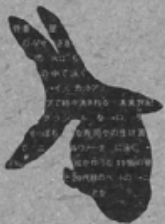




ホワイトティンノイズが波間を埋めて不快な衝動をないがしるにすることで
からは味方なのだから、体液を渡したせる刺激には丁寧に対処したいので、
だから普段は鼓膜に穴をあけてメントールにしている。

回遊する楽しみをあげようと思って、塩ビプールで部屋をいっばいにする計画をたてた。買物につきあってよと電話したら、金魚の記憶は三十秒しかもたないんだよとメラニーが言う。それでも、気持ちよさそうに泳いでいるように見える金魚を観て、そんなことで気持ちよくなるのがささやかな期待の充足、自分的にはそれでいいんだと言ったらメラニーが、それなら最初からそういう風に言えという。

金魚はせいぜい、鉢を這ってゆらゆらして死ぬ。
君の不幸は死に体のぶざま、はたしてうんちは
垂れ流し、そのくせ空腹感は持続していつでも
ばくばく泡を吹く。地球の家畜が
めいめいばい野性。でもキングギョならいっか。



ノイズをさーざー。血液さーざー。プールで長く泳いでいると昔金魚だったんじゃないかと思うんだ、と言ったらメラニーに、その連想はおかしいと指摘された。いつでも彼女は正しいけれど、水中のスピーカーから出てくる音が体液と濃度の近い水を渡ってくるのがスムーズで、浸透していくってこんな感じなのかなあと、それで思わず泡をボコボコ吐いてしまっただけで金魚の気分を瞬間でつかんだんだということも伝えたかった。

背骨の矯正のために先生は「毎晩寝る前に左に三回廻れ」と言う。どうせその日の不愉快の全てを一眠りで忘れるからいいんだけど、ここ数年のユニットは毎回捨てて、だから三回廻っても構わなかった。そういう風に考えるようになったのは腎玉腎炎を二回ほどやったからでしょうと答える。理由になりそうな疑うことの出来ないことはそれくらいしかないのです。三回廻って一回眠ってリスタートする家畜。金魚ならいいのに。

そうなんだよね、と納得の頷き、大きな鉢とついでに金魚のお猪口を買う。こっちには時々トカイの五ブットを注いでいい気分になり、くるくる三回廻してテーブルにこぼす。いっぽう鉢はあっさり壊れ、一度も使わないで捨ててしまふ。せめて郵便でゴミ捨て場に送れば良かったと後悔で胸が痛む。ろくに消費もしないので、こんなことで交換ノードのレベルを増やそうとする。

三回前にもあったような、三十秒前に見たところのような。いつだって、そこんところを思い出す前にリセットだから、金魚なら結構です。



HENRY by Julian Williams

あの日は西経百度あたりにいて
 「西」とうたって東経百度あたりを詠むから
 あつさりと頭上をかすめられた私の西は
 どこにあるのが考えていた。

七十キロ先の富士の山

二百キロ斜走りして戻った日の

二十キロ先の月の山

望遠レンズでシルエットをおう、
 五十メートル先の給水タンク

西は赤道が一番長い

南の島に向かったら

きつと西はたくさんあるのに

インドあたりは彼方十萬億土のひとつ

さあ行くか、シャングリラ

私の武器は西の矢印

ここいらの、ままごと山の端ぶち破り

Gにやられてまるくなる

